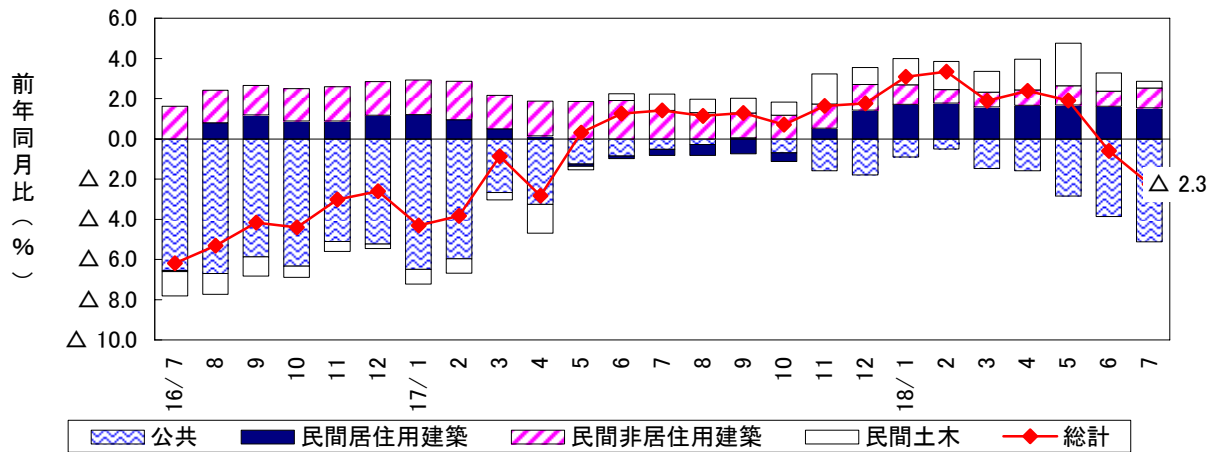


1. 建設投資の概況

(1) 建設総合統計（出来高）

7月の建設総合統計を出来高で見ると、全体で4兆810億円と対前年同月比2.3%減少した。公共は、建築が1,906億円（前年同月比2.5%減）、土木が8,995億円（同18.9%減）となり、全体では1兆901億円（同16.4%減）となった。民間は、建築が2兆4,871億円（前年同月比4.4%増）、土木が5,038億円（同2.9%増）となり、全体では2兆9,909億円（同4.2%増）となった。

建設総合統計(出来高ベース)の伸びと寄与度



(単位：億円)

区分	年度年月	総計	民間	建築		土木	公共
				居住用	非居住用		
年	15年度	553,431	317,379	257,091	182,294	74,798	236,052
	16年度	529,330	326,160	269,803	186,261	83,542	203,170
	17年度	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	197,376
月	18年 4月	41,280	27,112	22,187	14,840	7,346	14,168
	5	37,227	27,272	22,439	15,079	7,359	9,955
	6	38,844	28,481	23,667	16,020	7,648	10,363
	7	40,810	29,909	24,871	16,886	7,985	10,901

(対前年比、%)

年	15年度	△ 6.3	0.4	0.1	△ 0.2	0.9	1.7	△ 14.1
	16年度	△ 4.4	2.8	4.9	2.2	11.7	△ 6.5	△ 13.9
	17年度	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
月	17年 7月	1.4	2.9	2.0	△ 0.7	8.3	7.4	△ 1.6
	8	1.1	2.2	1.4	△ 1.4	7.9	6.4	△ 0.8
	9	1.3	2.0	0.9	△ 2.0	7.8	7.1	0.1
	10	0.7	2.3	1.5	△ 1.2	7.7	6.4	△ 1.7
	11	1.6	5.6	3.6	1.6	8.0	15.5	△ 3.8
	12	1.8	6.2	5.8	4.4	8.7	8.3	△ 4.2
	18年 1月	3.1	7.0	5.7	5.3	6.5	13.5	△ 2.1
	2	3.3	6.6	5.1	5.5	4.2	13.5	△ 1.2
	3	1.9	5.9	5.1	5.2	4.8	8.8	△ 3.5
	4	2.4	6.3	4.6	4.7	4.4	14.4	△ 4.3
	5	1.9	6.8	4.5	4.3	5.0	19.0	△ 9.5
	6	△ 0.6	4.7	4.1	4.1	4.0	8.0	△ 12.7
7	△ 2.3	4.2	4.4	4.0	5.4	2.9	△ 16.4	
累計	4月~7月	0.3	5.4	4.4	4.2	4.7	10.6	△ 10.5

資料：国土交通省「建設総合統計」

注) 平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

(2) 公共機関からの受注工事

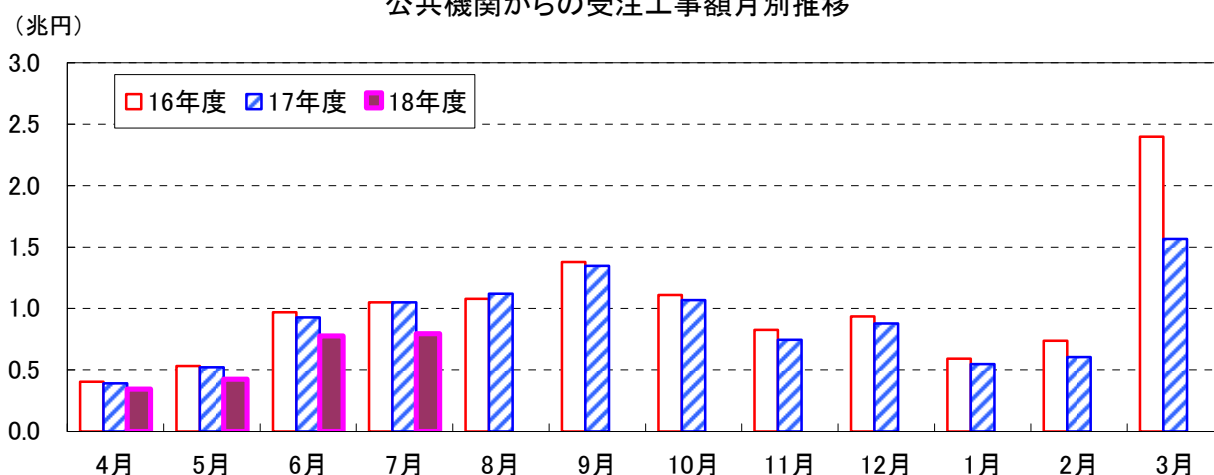
7月の公共機関からの受注工事額（1件あたり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は、国の機関1,701億円（前年同月比44.4%減、3ヶ月連続）、地方の機関6,236億円（同16.3%減、9ヶ月連続）となり、全体で7,937億円（同24.5%減、11ヶ月連続）となった。

工事分類別でみると、公園（前年同月比12.6%増、寄与度+0.1）、廃棄物処理（同7.5%増、寄与度+0.1）等が増加し、道路工事（同35.4%減、寄与度-10.7）、教育・病院（同25.1%減、寄与度-4.1）等が減少した。

さらに発注機関・工事分類別でみると、国以外の機関の道路工事（寄与度-8.1）、市区町村の教育・病院（寄与度-2.6）等のマイナスの寄与度が大きい。

7月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比51.4%減少（3ヶ月連続）した。

公共機関からの受注工事額月別推移

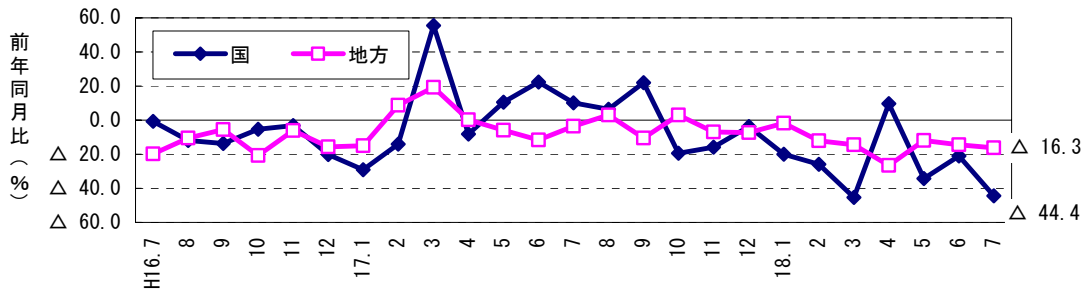


公共機関からの受注工事（対前年比、%）

区分 年度年月		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年	15年度	△ 17.5	△ 14.3	△ 18.8	△ 6.9	△ 19.0	△ 22.4	△ 15.0	△ 22.1	△ 20.5
	16	△ 5.6	4.1	7.9	△ 1.4	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.9	△ 6.3	△ 15.2
	17	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9
月	17年7月	0.1	10.2	28.1	△ 1.9	△ 3.6	17.6	△ 18.9	86.4	△ 31.6
	8	3.9	6.5	23.2	△ 7.6	3.1	6.8	2.8	△ 6.2	△ 15.3
	9	△ 2.1	21.9	42.1	2.5	△ 10.6	△ 10.8	△ 8.7	13.1	△ 48.1
	10	△ 3.8	△ 19.5	△ 7.6	△ 33.2	3.0	△ 10.9	8.2	70.6	58.7
	11	△ 9.7	△ 15.8	4.4	△ 29.6	△ 7.0	△ 9.7	△ 15.1	39.9	39.8
	12	△ 6.3	△ 3.8	△ 9.5	3.9	△ 7.3	△ 4.5	△ 16.4	59.7	△ 42.4
	18年1月	△ 7.5	△ 20.0	△ 23.2	△ 15.5	△ 1.8	△ 2.2	2.8	7.0	△ 42.7
	2	△ 17.5	△ 25.9	△ 18.3	△ 36.5	△ 12.2	△ 13.3	△ 19.1	9.2	△ 4.3
	3	△ 34.4	△ 45.4	△ 56.3	△ 1.0	△ 14.5	△ 16.7	△ 26.7	26.6	16.0
	4	△ 12.1	9.7	7.7	14.5	△ 26.5	△ 40.0	△ 26.6	96.7	△ 42.7
次	5	△ 18.4	△ 34.3	△ 35.8	△ 32.4	△ 11.9	△ 18.8	△ 13.4	7.1	97.4
	6	△ 16.4	△ 21.1	44.5	△ 62.4	△ 14.5	△ 26.0	△ 11.7	9.1	29.8
	7	△ 24.5	△ 44.4	△ 23.0	△ 63.2	△ 16.3	△ 8.6	△ 18.4	△ 33.6	△ 24.6
	累計	4月～7月	△ 19.1	△ 26.1	△ 2.4	△ 50.1	△ 16.1	△ 20.4	△ 15.8	△ 2.0

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

機関別受注工事額の推移



政府建設投資関連指標

(単位: 億円)

	公共機関からの受注工事				前払請負額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
16年度	120,127	43,227	76,900	30,111	137,354	203,170	240,205
17	107,719	35,538	72,181	24,738	129,622	197,376	239,885
17年Ⅲ期	35,193	10,429	24,763	7,715	37,857	45,040	56,100
Ⅳ	26,937	7,420	19,517	5,521	30,614	60,494	70,349
18年Ⅰ期	27,166	12,010	15,156	7,779	25,759	54,167	65,958
Ⅱ	15,470	4,760	10,711	3,247	31,244	34,486	43,700
18年2月	6,035	2,121	3,915	1,720	6,055	17,445	
3	15,656	8,414	7,242	5,064	13,529	19,812	
4	3,439	1,708	1,731	893	11,402	14,168	
5	4,261	994	3,266	633	8,526	9,955	
6	7,771	2,057	5,714	1,721	11,316	10,363	
7	7,937	1,701	6,236	1,089	11,165	10,901	

(対前年比、%)

	公共機関からの受注工事				前払請負額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
16年度	△ 5.6	4.1	△ 10.4	△ 0.9	△ 11.1	△ 13.9	△ 11.4
17	△ 10.2	△ 17.5	△ 6.1	△ 17.8	△ 5.6	△ 2.9	△ 0.1
17年Ⅲ期	0.4	13.6	△ 4.3	14.7	△ 3.0	△ 0.7	1.9
Ⅳ	△ 6.3	△ 13.4	△ 3.3	△ 7.6	△ 2.2	△ 3.3	△ 0.7
18年Ⅰ期	△ 26.8	△ 40.3	△ 10.8	△ 43.2	△ 11.8	△ 2.3	0.3
Ⅱ	△ 16.0	△ 16.2	△ 16.0	△ 12.8	△ 11.7	△ 8.5	△ 8.0
17年7月	0.1	10.2	△ 3.6	11.5	△ 12.7	△ 1.6	
8	3.9	6.5	3.1	0.7	△ 0.2	△ 0.8	
9	△ 2.1	21.9	△ 10.6	27.7	4.1	0.1	
10	△ 3.8	△ 19.5	3.0	1.0	△ 1.4	△ 1.7	
11	△ 9.7	△ 15.8	△ 7.0	△ 28.9	△ 0.9	△ 3.8	
12	△ 6.3	△ 3.8	△ 7.3	3.8	△ 4.7	△ 4.2	
18年1月	△ 7.5	△ 20.0	△ 1.8	△ 36.4	△ 6.8	△ 2.1	
2	△ 17.5	△ 25.9	△ 12.2	△ 12.5	△ 8.3	△ 1.2	
3	△ 34.4	△ 45.4	△ 14.5	△ 50.2	△ 15.4	△ 3.5	
4	△ 12.1	9.7	△ 26.5	12.6	△ 17.3	△ 4.3	
5	△ 18.4	△ 34.3	△ 11.9	△ 45.5	△ 0.7	△ 9.5	
6	△ 16.4	△ 21.1	△ 14.5	△ 2.6	△ 13.2	△ 12.7	
7	△ 24.5	△ 44.4	△ 16.3	△ 51.4	△ 4.3	△ 16.4	
18年度累計	△ 19.1	△ 26.1	△ 16.1	△ 27.3	△ 9.9	△ 10.5	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」、内閣府「四半期別国民所得統計速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共事業前払保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、前払請負額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

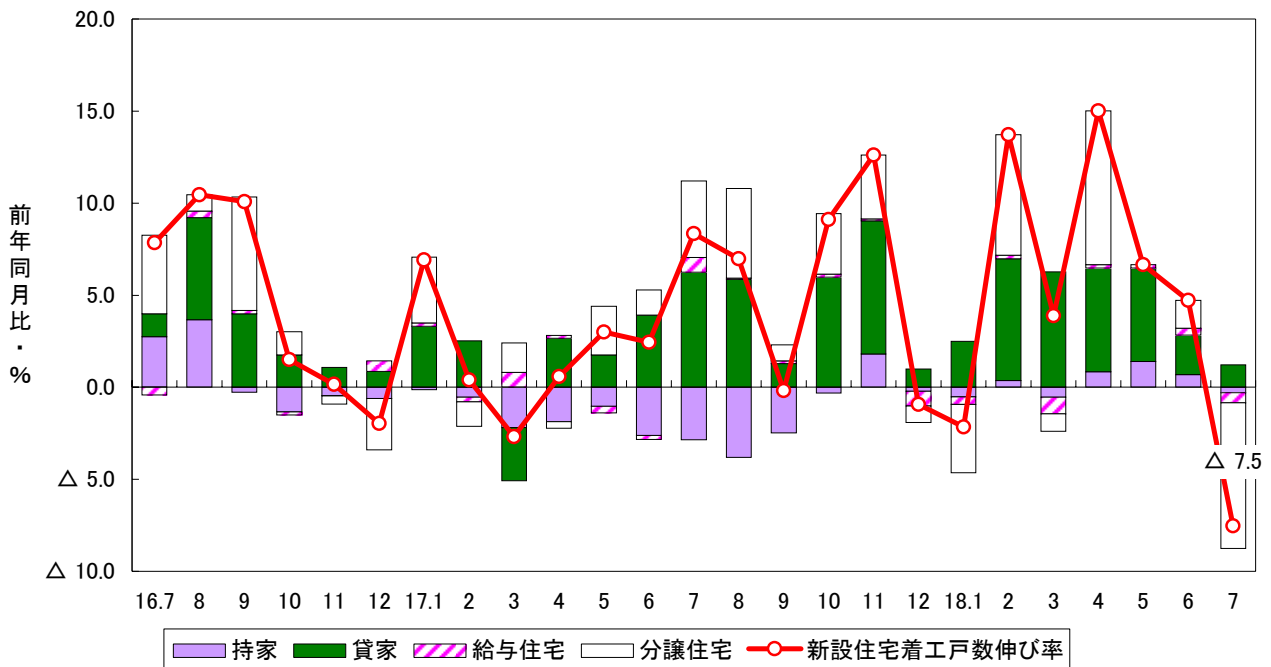
7月の着工は106,649戸。対前年同月比で見ると、貸家は増加したものの、持家及び分譲住宅が減少したため、全体で7.5%減少(6ヶ月ぶり)した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成17年7-9月期1,274千戸(前期比6.7%増)、10-12月期1,265千戸(同0.8%減)、平成18年1-3月期1,265千戸(同0.0%増)、4-6月期1,298千戸(同2.6%増)、7月は1,209千戸(同5.7%減)となった。

新設住宅着工戸数(戸、対前年比・%)

区分 年度年月		総戸数	総計	持家		貸家	分譲住宅		季節調整値 (年率換算) 総戸数 (千戸)
				公庫 融資			マ ン シ ョ ン		
年 度	15年度	1,173,649	2.5	2.1	△ 31.5	0.9	5.6	2.0	総戸数 (千戸)
	16	1,193,038	1.7	△ 1.6	△ 52.2	1.9	4.6	2.5	
	17	1,249,366	4.7	△ 4.0	△ 34.1	10.8	6.1	11.2	
月 次	17年7月	115,343	8.3	△ 8.5	△ 43.2	17.3	14.0	25.9	1,309
	8	109,199	7.0	△ 10.9	△ 38.7	15.3	18.7	38.9	1,272
	9	108,086	△ 0.2	△ 8.1	△ 31.7	3.3	2.9	6.4	1,248
	10	115,822	9.1	△ 1.1	△ 23.0	14.6	11.0	18.4	1,282
	11	110,986	12.6	6.4	△ 6.7	17.0	12.2	19.7	1,303
	12	97,932	△ 0.9	△ 0.8	△ 15.1	2.3	△ 3.1	△ 2.7	1,169
	18年1月	92,899	△ 2.2	△ 2.1	△ 17.5	6.2	△ 10.8	△ 16.6	1,259
	2	96,995	13.7	1.2	△ 32.9	16.5	21.5	38.1	1,334
	3	94,318	3.9	△ 1.8	△ 26.2	17.2	△ 3.0	△ 4.3	1,224
	4	111,260	15.0	2.6	△ 25.6	14.3	30.0	55.8	1,335
	5	108,652	6.7	4.5	△ 25.7	13.1	0.0	0.6	1,294
	6	114,331	4.7	2.2	△ 30.4	5.2	5.4	9.4	1,282
	7	106,649	△ 7.5	△ 1.0	△ 24.8	3.1	△ 25.5	△ 38.3	1,209
	累計	4月~7月	440,892	4.2	2.0	△ 26.7	8.6	0.5	1.6

新設住宅着工戸数の伸びと利用関係別寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

7月の着工は 32,564 戸。北海道、近畿、中国、四国及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 1.0%減少（4ヶ月ぶり）した。

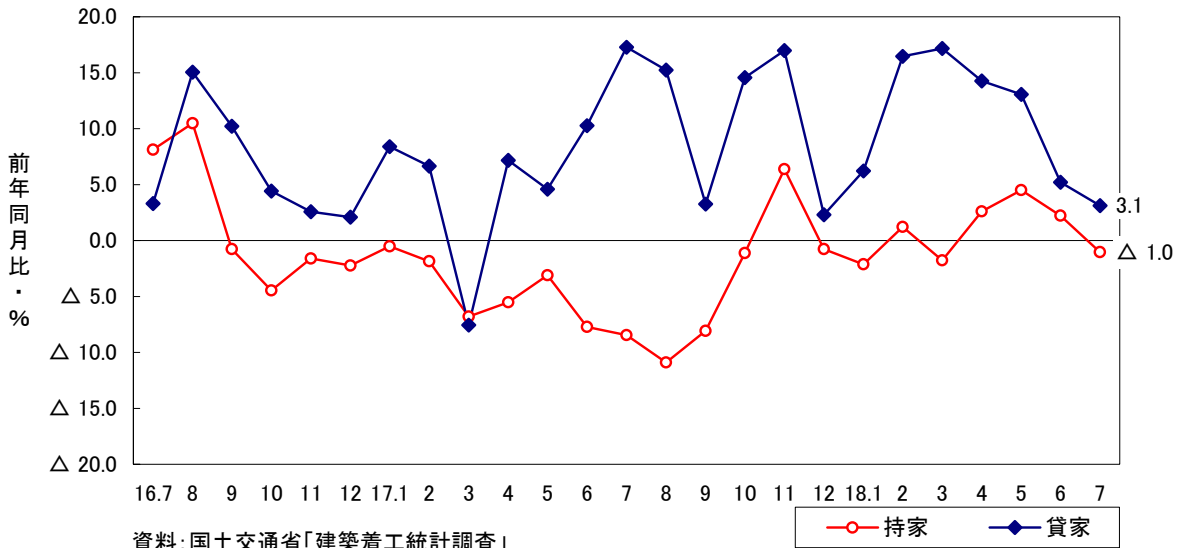
<貸家>

7月の着工は 46,553 戸。東北、関東、四国及び九州では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比 3.1%増加（16ヶ月連続）した。

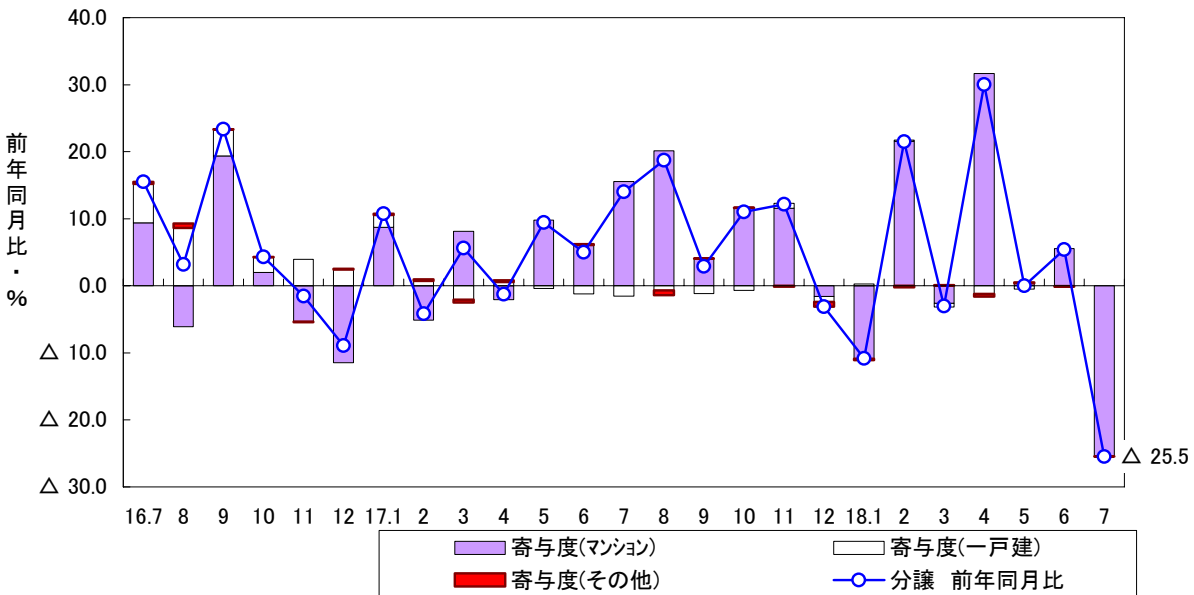
<分譲>

7月の着工は 26,743 戸。北海道、東北、北陸、四国及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 25.5%減少（4ヶ月ぶり）した。マンションは 14,659 戸で、首都圏は減少（6,952 戸、同 51.6%減、3ヶ月連続）、中部圏は減少（603 戸、同 56.1%減、3ヶ月連続）、近畿圏は減少（2,992 戸、同 25.2%減、3ヶ月ぶり）、その他の地域は増加（4,112 戸、同 2.3%増、4ヶ月連続）し、全体では同 38.3%減少（4ヶ月ぶり）した。一戸建住宅は 11,861 戸で、同 0.0%減少（5ヶ月連続）した。

持家・貸家着工の推移



分譲住宅着工戸数に占めるマンション、一戸建寄与度の推移



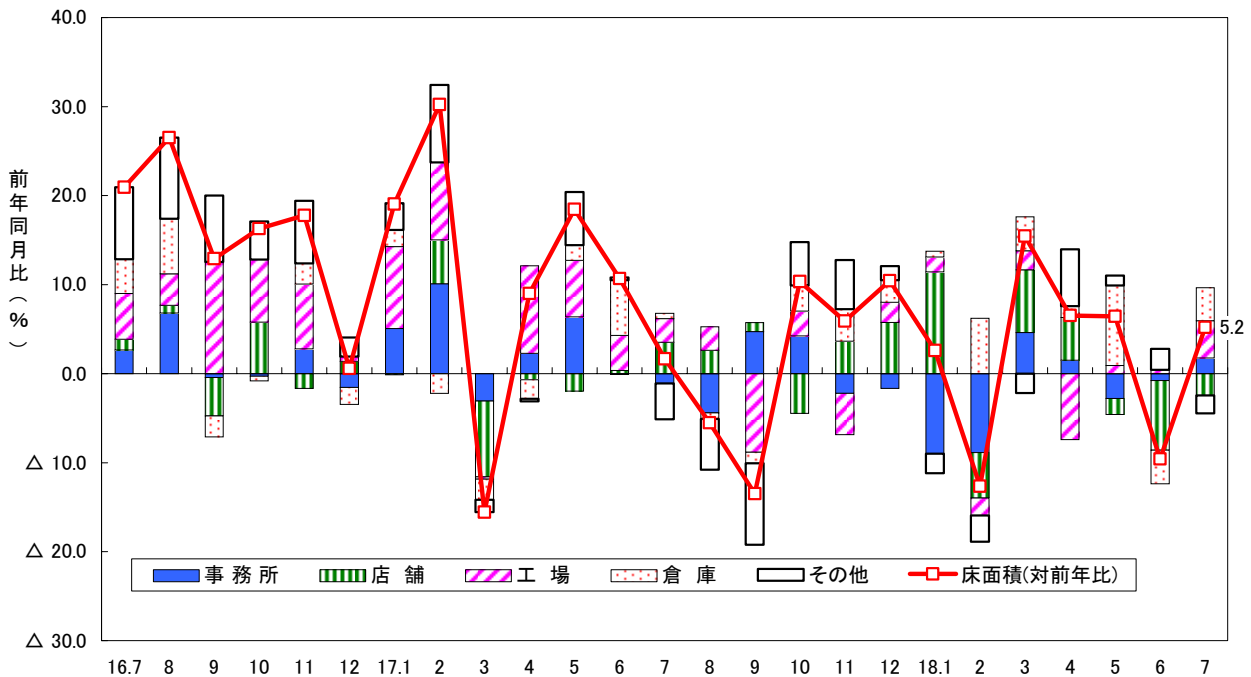
(4) 民間非居住建築

7月の着工床面積は571万㎡で前年同月比5.2%増加(先月の減少から再び増加)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は63万㎡で前年同月比17.7%増加(3ヶ月ぶり)、店舗は98万㎡で同12.0%減少(3ヶ月連続)、工場は138万㎡で同19.9%増加(3ヶ月連続)、倉庫は92万㎡で同28.0%増加(先月の減少から再び増加)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成18年6月実施)で平成18年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比16.4%増加(平成17年度同13.9%増加)となり、非製造業(大企業)は同8.9%増加(平成17年度同3.8%増加)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は-2、「先行き」は-1となり、先行きの設備過剰感は改善傾向にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸びと用途別寄与度



(対前年比、%)

区分	年度年月	床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	15年度	8.0	11.2	2.5	13.7	9.4	8.8	25.1	△ 5.0	16.8	17.3
	16	13.8	9.6	7.5	36.0	8.8	9.7	7.1	8.5	44.2	5.1
	17	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6
月	17年7月	1.7	△ 9.9	20.3	14.3	4.6	6.2	△ 10.1	20.8	35.1	△ 8.3
	8	△ 5.5	△ 30.1	15.5	16.6	△ 5.0	△ 11.4	△ 58.3	8.7	23.7	5.5
	9	△ 13.5	66.5	6.3	△ 37.0	△ 10.7	△ 12.0	89.0	△ 10.0	△ 36.7	△ 4.4
	10	10.3	44.8	△ 20.8	14.3	26.8	17.3	46.7	3.2	16.3	24.0
	11	5.9	△ 20.6	26.5	△ 20.4	29.3	8.3	△ 28.1	21.2	△ 10.3	25.2
	12	10.4	△ 15.7	32.5	11.2	23.5	15.0	0.1	16.1	25.4	16.7
	18年1月	2.6	△ 54.4	97.0	7.1	5.8	△ 7.9	△ 66.3	110.4	5.0	2.9
次	2	△ 12.7	△ 52.0	△ 25.1	△ 9.0	77.3	△ 18.3	△ 71.4	△ 19.9	14.5	80.5
	3	15.4	41.6	44.4	10.7	27.8	23.7	68.8	23.9	37.9	36.5
	4	6.5	16.3	28.2	△ 24.0	10.3	18.8	54.6	49.7	△ 13.6	8.3
	5	6.4	△ 19.8	△ 10.7	3.9	71.1	△ 1.4	△ 36.1	△ 21.3	17.6	61.8
	6	△ 9.6	△ 8.2	△ 36.6	2.0	△ 21.6	△ 9.5	△ 18.9	△ 41.4	△ 7.3	△ 14.2
	7	5.2	17.7	△ 12.0	19.9	28.0	2.8	36.6	△ 8.7	16.0	40.8
	累計	4月~7月	1.7	△ 0.9	△ 10.7	△ 2.0	16.0	2.0	△ 1.6	△ 12.2	1.4

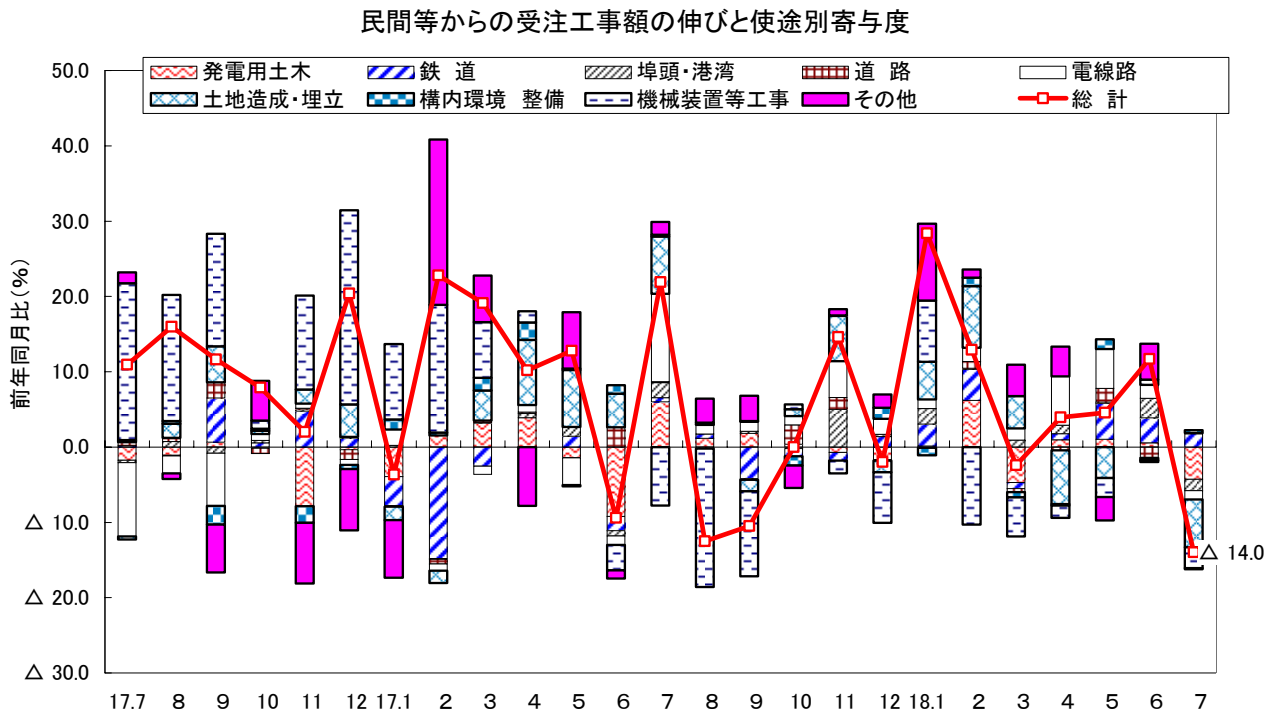
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

7月の土木工事及び機械装置等の受注工事額（1件あたり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,596億円で、前年同月比14.0%減少（4ヶ月ぶり）した。

発注者別で見ると、運輸業（前年同月比10.5%増、寄与度+1.4）、情報通信業（同1.8%増、寄与度+0.3）等が増加し、製造業（同16.5%減、寄与度-4.8）、不動産業（同55.3%減、寄与度-4.3）等が減少した。

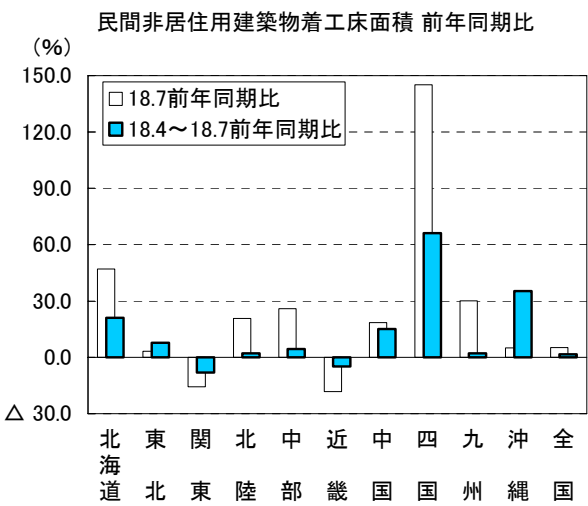
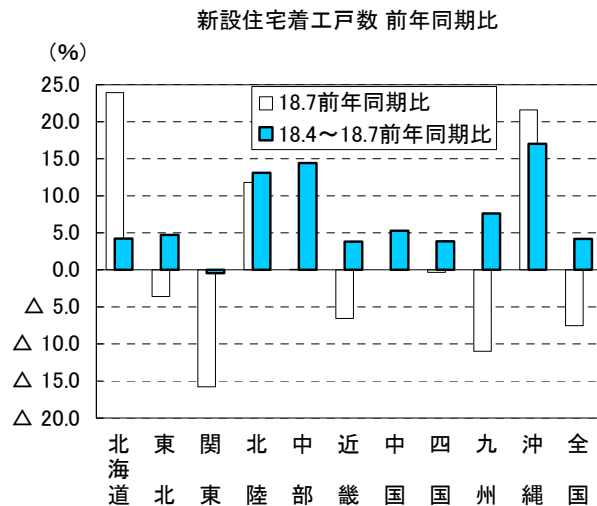
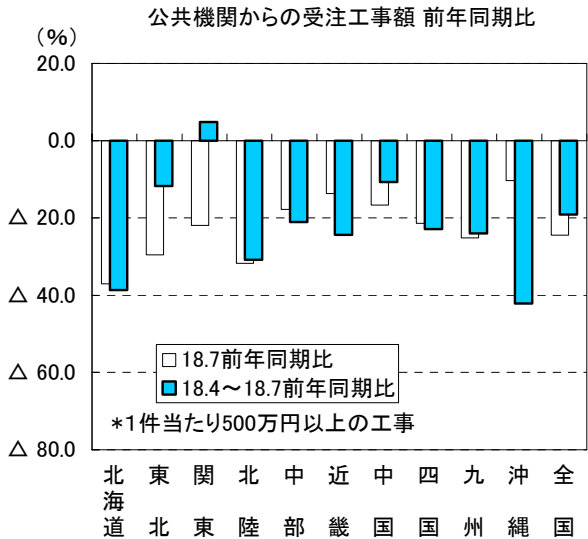
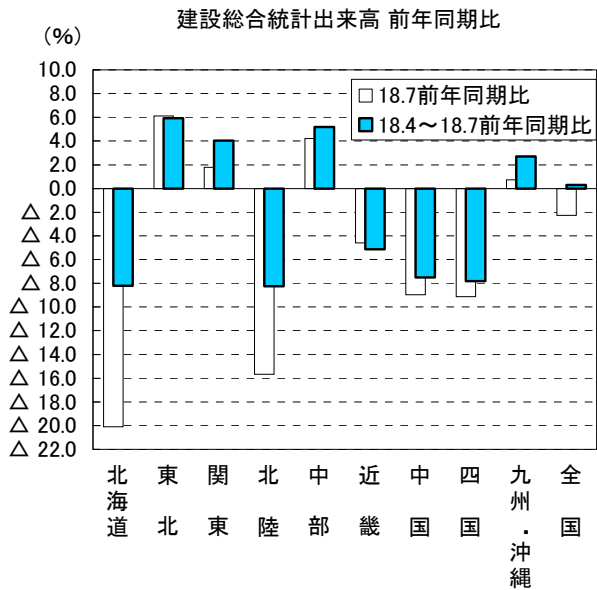
工事種類別で見ると、鉄道工事（寄与度+1.8）、管工事（寄与度+0.5）等が増加し、土地造成・埋立工事（寄与度-6.4）、発電用土木工事（寄与度-4.3）等が減少した。



		(対前年比、%)									
		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等工事	
年	15年度	1.4	2.5	△ 8.2	△ 34.1	7.8	5.6	0.6	41.0	△ 1.7	
	16	5.5	4.7	△ 11.4	4.6	△ 5.9	△ 15.2	7.8	△ 0.8	30.9	
	17	3.6	△ 5.3	△ 0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△ 11.9	
月	17年7月	21.9	370.6	4.2	271.8	7.3	91.6	103.9	6.5	△ 16.8	
	8	△ 12.5	92.1	3.9	△ 0.8	△ 12.3	13.0	1.1	6.9	△ 36.3	
	9	△ 10.5	95.8	△ 23.0	91.2	△ 6.0	15.3	△ 16.1	4.1	△ 25.7	
	10	△ 0.0	△ 13.1	△ 7.5	36.1	399.9	8.4	13.9	△ 30.2	1.3	
	11	14.6	△ 22.7	△ 5.8	705.2	116.1	42.0	92.6	3.0	△ 4.0	
	12	△ 2.0	△ 54.3	10.9	44.8	△ 7.3	23.8	△ 17.4	60.6	△ 13.6	
	18年1月	28.4	5.9	23.1	218.7	△ 10.1	6.4	79.5	△ 26.0	18.6	
	2	12.9	231.7	36.0	31.6	120.0	20.5	161.9	50.7	△ 19.4	
	3	△ 2.4	△ 76.1	△ 3.3	133.7	△ 36.9	25.8	49.5	△ 30.6	△ 14.4	
	4	3.9	23.4	6.2	103.6	△ 28.0	43.9	△ 49.4	△ 3.1	△ 4.8	
	5	4.6	87.7	46.1	9.8	256.8	75.1	△ 32.7	30.2	△ 6.2	
	6	11.7	37.9	21.3	333.6	△ 41.1	14.2	△ 2.8	△ 5.7	1.8	
7	△ 14.0	△ 68.6	17.0	△ 66.4	4.1	△ 5.7	△ 52.3	12.5	△ 8.7		
累計	4月～7月	0.1	△ 22.4	21.8	24.8	2.0	19.0	△ 37.0	8.3	△ 4.7	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

(6) 地域別動向



区分 地域	投資	受注・着工				企業	労働			
	建設 総合 統計	公共機関 受注	民間非 居住用 建築物	新設 住宅	民間等 受注 (土木・機械)	建設業 倒産 件数	建設技能 労働者不足率 (6職種計・原数値)		有効求人 倍率 (季調済)	
	4月~7月 前年比 (%)	4月~7月 前年比 (%)	4月~7月 前年比 (%)	4月~7月 前年比 (%)	4月~7月 前年比 (%)	4月~8月 前年比 (%)	7月		7月	
北海道	△ 8.2	△ 38.7	21.0	4.2	△ 21.1	55.2	5.4	0.7	0.59	△ 0.02
東北	5.9	△ 11.7	7.9	4.7	10.8	△ 2.0	0.6	△ 0.1	0.85	△ 0.01
関東	4.0	4.9	△ 8.0	△ 0.4	14.1	△ 4.5	7.0	2.6	1.30	0.01
北陸	△ 8.3	△ 30.8	2.2	13.1	12.3	62.5	0.8	△ 1.3	1.33	0.01
中部	5.2	△ 21.1	4.4	14.4	△ 18.4	31.6	0.8	△ 0.5	1.63	0.01
近畿	△ 5.1	△ 24.4	△ 4.7	3.8	8.2	7.1	4.4	1.2	1.10	0.03
中国	△ 7.5	△ 10.7	15.1	5.3	△ 29.0	52.4	△ 1.1	1.0	1.20	0.03
四国	△ 7.8	△ 22.9	66.2	3.9	△ 22.2	157.1	0.3	0.3	0.89	△ 0.03
九州	2.7	△ 24.0	2.1	7.6	△ 0.3	12.5	1.6	0.9	0.78	0.01
沖縄	—	△ 42.1	35.3	17.0	△ 13.9	25.0	△ 0.8	△ 0.2	0.49	0.04
全国	0.3	△ 19.1	1.7	4.2	0.1	11.1	2.7	0.5	1.09	0.01

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計」、「建設労働需給調査」
帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「一般職業紹介状況」

注) 労働に関する指標の対前年比、対前月比の単位はポイント。建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。建設総合統計の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。